

サン・フランシスコ地区における大量麻薬移送ルートについて

平成29年11月17日
在パナマ日本国大使館

報道によれば、15（水）深夜、治安当局はサン・フランシスコ地区のボカ・ラ・カハ（地図上赤枠内）を出発した車両を追尾し、到着先のプエブロ・ヌエボ地区（注；オマール公園北側にある地区）の住宅等を搜索した結果、約800キロの麻薬（コカイン及びマリファナ）を押収しました。この大量の麻薬は海上からボート等を利用してボカ・ラ・カハへ運ばれたと思われます。同地域では昨年の3月に約750キロの麻薬が押収されています。

在留邦人の皆様におかれましては、日本人が多く住む新市街においても、大がかりな組織犯罪が行われていることを念頭におき、外出時は周囲の状況を確認して、事件に巻き込まれることのないようご注意ください。（了）

